

# 「政宗ワールド」プロジェクト

50年後の風景を夢みて

## 講演会のご依頼について

「政宗ワールド」プロジェクトでは、伊達政宗公生誕 450 年の本年、講演会、及びガイドツアーを以下の内容にて行わせていただいております。

準備の都合上、開催日の一か月以上前にお申込みをお願いいたします。講師の都合によりお引き受けできない場合がございますこと、ご了承くださいますようお願い申し上げます。

講演料は、講師により異なりますので、ご相談をお願いします。

お申込み・お問合せ・ご相談はお気軽に、「政宗ワールド」プロジェクト事務局大沢・大西までメールにてお願いいたします。[contact@masamuneworld.jp](mailto:contact@masamuneworld.jp)

〈演題・講師および内容〉①～②⑧

〈ガイドツアー・ガイドおよび内容〉①～④

〈講師プロフィール一覧〉

演題	①「仙台城下町名由来と町割」 ②「仙台城下 わたしの記憶遺産」
講師	古田 義弘
所要時間	各回 90 分
内容	「伊達な文化」と「歴史的足跡」を念頭に郷土史として広範な視点で、江戸時代の仙台と現在の仙台を解りやすく解説します。 古くからの仙台の住民も、新しく転居された住民も「仙台」を知る手掛かりになると思います。

演題	③ 伊達政宗以前の仙台 ④ 伊達氏の起こりと政宗の生い立ち ⑤ 伊達政宗の築城とまちづくり ⑥ 伊達政宗と大崎八幡宮 ⑦ 四ツ谷用水と貞山堀 ⑧ 古地図で見る仙台城下町 ⑨ 伊達騒動(寛文事件)と歌舞伎「伽羅先代萩」 ⑩ 伊達政宗の教養と伊達家の正月料理 ⑪ 「おくのほそ道」芭蕉と仙台 ⑫ 伊達政宗の晩年と瑞鳳殿 ⑬ 伊達政宗と殉死者 ⑭ 武将伊達政宗の夫像・父親像 ⑮ 葛西・大崎一揆と政宗の花押 ⑯ 伊達政宗のエピソード 20
講師	遠藤 <sup>かつま</sup> 勝目
所要時間	各回 90 分間
内容	現在の仙台市は、伊達政宗が青葉山に築城、城下町を開いたことによって存在しています。その政宗と仙台にかかわる歴史をひもとき、資料をもとに政宗の思いを探る講座を開設します。

演題	⑰ 伊達政宗公生誕 450 年記念・伊達政宗公の仙台城
講師	田中 <sup>おとひこ</sup> 於菟彦、または大沢 <sup>よしひろ</sup> 慶尋
所要時間	40～120 分(要相談)
内容	<p>伊達政宗公の思想と理想が宿る仙台城。青葉城資料展示館製作の仙台城の高精細CG映像・画像と現地史跡の写真画像、江戸時代の絵図・建物の姿絵図などの史料の画像を用い、最新の発掘調査成果をあわせて、仙台城の構造と独創性から仙台城に込めた政宗公の思想と理想を浮き彫りにします。</p> <p>ご要望次第で、これに加えて仙台城址の東日本大震災の被害についても言及いたします。</p>

演題	⑱ 伊達政宗公生誕 450 年記念・南奥の覇者「伊達政宗公」
講師	田中 於菟彦、または大沢 慶尋
所要時間	40～120 分(要相談)
内容	南奥の覇者・伊達政宗公の一生を、450 年前の米沢での生誕から戦国期、そして仙台城築城、慶長遣欧使節派遣、晩年に至るまで、残存する実物史料・建造物、また史跡などの画像をご覧いただき概観し、その波乱に満ちた多彩で濃密な一生に迫ります。

演題	⑲ 南奥の覇者伊達政宗公とそれを支えた家臣たち
講師	大沢 慶尋
所要時間	90～120 分(要相談)
内容	<p>戦国大名から近世大名へと自らを変化させ、激変する時代を乗り切った伊達政宗公。このレースを完走しきった大名は少ない。政宗公は、実に周囲の「人」に恵まれていた。片倉景綱、伊達成実、茂庭綱元、虎哉宗乙禅師、愛姫はじめ実に多くの忠臣・家族の支えがあってこそ、このレースを完走することができた。</p> <p>そして彼らが政宗公を支えようとしたのは、政宗公自身に彼らの心をとらえて離さない大きな魅力があったからこそであった。</p>

演題	⑳ 出帆 400 年記念・慶長遣欧使節-支倉常長苦難の旅-
講師	大沢 慶尋
所要時間	90～120 分(要相談)
内容	<p>奥州王・伊達政宗公の命による 7 年にわたる支倉常長一行の苦難の旅。2013 年、その始まりから 400 年を迎えました。使節行実現までの経緯は？2008 年と 2012 年、そして 2014・15 年と延べヶ月にわたる青葉城資料展示館による海外関係史跡探訪取材をもとに、様々な書簡と、メキシコ・スペイン・イタリアにおける使節の足跡を追体験する史跡探訪世界旅行に皆様をご案内いたします。</p> <p>そして、一行中でメキシコ・スペインに残留・永住した日本人の存在についての近年の研究成果にも言及します。</p>

演題	㉑ 天正 2 年最上の乱-伊達氏、最上氏とその周辺国衆-
講師	大沢 慶尋
所要時間	90～120 分(要相談)
内容	<p>2001 年青葉城資料展示館発見・公開の栄林(最上義守)書状 4 通をはじめ、伊達輝宗日記、また最上氏を取り巻く周辺大名・国衆の書状などをもとに、天正 2 年(1574)の最上の乱の実態を明らかにしていきます。</p> <p>「義守(父)から義光(子)への家督相続はいつで、どのような実態だったのか？天正 2 年最上の乱はなぜ起こったのか？果たして義光の弟といわれる中野義時は乱の当事者なのか？」などを解き明かします。</p> <p>追い詰める最上義守(父)と伊達輝宗！追い詰められる義光(子)！自らの野望に燃える天童！翻弄される寒河江。生存と安定をかけた高擲・蔵僧、溝延・延沢。中人として苦悩する白鳥十郎！</p> <p>そして、山形盆地に決戦の 8 月 15 日がおとずれる！！</p>

演題	②伊達政宗の見た最上義光
講師	大沢 慶尋
所要時間	90～120 分(要相談)
内容	<p>独眼竜伊達政宗は最上義光をどのように見ていたのか？そしてその隻眼を通して映し出された像は、現在私達の多くがイメージする「悪役義光」の姿であったのだろうか？</p> <p>伊達家家督相続当初から、政宗にとって義光とはどういう存在であったのか？</p> <p>母 保春院による毒殺事件の真相は？義光は本当に裏で糸を引いていたのか？鮎貝宗信による謀反事件の真相は？義光は本当にこの一件に関わっていたのか？</p> <p>政宗書状および政宗周辺の同時代史料から、最上義光を政宗がどのように見ていたか真実の姿を浮かび上がらせたい！</p> <p>元禄期編纂の『貞山公治家記録』の誤解釈と、それに基づく NHK 大河ドラマ「独眼竜政宗」の影響による「悪役義光」イメージの定着化を明らかにしたい。</p>

演題	③私の「伊達文化論」～政宗公の育んだ文化、その継承と広がり～
講師	大沢 慶尋
所要時間	90～120 分(要相談)
内容	<p>政宗は、伝統的「伊達家の文化・南東北の文化」を基礎として重んじ、その土台の上に新しい上方の「文化(桃山文化)」を積極的に取り入れ、それらを融合させ、さらに独自のものとして新時代へ向け挑戦的に発展させた。</p> <p>その政宗による精神・文化は、色あせることなく藩政時代を通して継承され、広がりを見せていった。</p> <p>なぜそのようなことが現実におこりえたであろうか？ 本講義ではその構造的な謎を解き明かす。</p>

演題	②④日本の中の伊達政宗、世界の中の伊達政宗
講師	大沢 慶尋
所要時間	各回 90 分
内容	<p>いまだ歴代大河ドラマでナンバーワンの視聴率を誇る「独眼竜政宗」。そして世界で日本の皇帝と称された豊臣秀吉・徳川家康。日本の中で政宗は彼らとどのように関り激動の戦国から近世へと生き残っていったのか？政宗は当時の日本、その後の日本にどのような影響を与えたのか？</p> <p>秀吉の命による朝鮮出兵、そして支倉常長を使者としてのスペイン国王・ローマ教皇への遣欧使節の派遣。世界の中で政宗はどのように生きようとし何を目指したのか？</p> <p>年の大河ドラマ「軍師官兵衛」の主人公・黒田官兵衛の長男 福岡藩主・黒田長政とともに計画したといわれる徳川幕府倒幕。その真相は？</p> <p>「日本の中の伊達政宗、世界史の中の伊達政宗」という視点から人間伊達政宗の実像に迫りたい！</p> <p>第1回 伊達政宗と豊臣秀吉 ～そして朝鮮出兵へ～  第2回 伊達政宗と徳川家康① ～内政を中心に～  第3回 伊達政宗と徳川家康② ～スペイン外交編～</p> <p>※全3回、各回90分の講座ですが、「伊達政宗と豊臣秀吉」のみの講演会、「伊達政宗と徳川家康～スペイン外交編～」のみの講演会なども承ります。</p>

演題	②⑤近世大名 伊達氏の治水・利水
講師	新関 昌利
所要時間	(要相談)
内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 当時代の領主が水の支配と管理の任を自負</li> <li>2. 仙台領における川村孫兵衛重吉の関わりにおいて <ul style="list-style-type: none"> <li>・領内の治水</li> <li>・都市施設としての城下町の用水(水道)</li> </ul> </li> <li>3. 今に残る遺産</li> </ol>

演題	②⑥「貞山運河を活かした地域振興」 —先人の偉業を現代に活かし後世に継ぐ—
講師	佐藤 彰男
所要時間	90 分間
内容	貞山運河の歴史、貞山運河の特徴、貞山運河の見所、果たしてきた役割、これからの活用にあたって等々。

演題	②⑦「古民家復権」-古民家よ、よみがえれ-
講師	安井 妙子
所要時間	90 分間
内容	多数の高断熱高気密耐震補強でよみがえった古民家を示しながら、あきらめていた古い家を高性能住宅にして、21 世紀の生活ができる、しかも民家特有の力強い大空間を日々感じながら、この伝統文化を次世代に伝えることができるということを知ってもらいます。多くの写真や、模型を示して具体的に理解できるようにします。 また、実際によみがえった古民家の中で講演会をすることができます。

演題	②⑧「政宗公・城と観光」
講師	二郷 <small>まこと</small> 精
所要時間	90～120 分間
内容	明治初期の「廃城令」と、「仙台空襲」で跡形もなくなった「仙台城」城址の現在抱える問題と、今後のあり様を、建築やの視点で紹介、建築・環境・観光を絡ませて、解決しなければならない課題、ここにあってほしい風景と環境について語る。又、現存する仙台城の絵図面から創出した「仙台城」の姿を、CG 映像写真・古写真映像等を、スライドで紹介しながら、その不思議について紹介する。

## 〈ガイドツアー〉

ツアー	① 伊達家御廟 大年寺山 無尽灯廟の案内
ガイド	坂 和夫
所要時間	40 分
内容	伊達綱村公(4代藩主)以後の、5代藩主吉村公夫妻、6代宗村公夫妻、7代重村公夫妻、8代斉村公夫妻、9代周宗公及び後見役堀田正敦公、10代斉宗公夫妻、11代斉義公、12代斉邦公夫妻、13代慶邦公及び宗基(亀三郎)公について

ツアー	② 仙台市宮城野区原町本通りの歴史建物まち歩き
ガイド	安井 妙子
所要時間	120 分間
内容	原町一丁目に所在する江戸末期伊達家役宅の「庄司家住宅」、江戸中期の仙台市登録文化財善入院観音堂、同院境内の仙台市保存樹大イチョウ、土井晩翠(林吉)の父土井(庄司)林七の実家で明治7年建築の「庄司家住宅」。原町三丁目の明治7年建築、天保7年(1836)創業の鳥山米穀店の見学を含めて、歴史散歩のガイドをします。



ツアー	③ 学芸員大沢と行く 青葉城資料展示館見学と青葉城址散策ツアー
ガイド	大沢 慶尋
所要時間	3時間 雨天決行
内容	<p>伊達政宗公が天然の要害の地に築いた青葉城(仙台城)。織豊系城郭技術と伊達氏系城郭技術の融合する仙台城の特徴、そして築城に込めた伊達政宗の思想・理想を説き明かします。</p> <p>非公開の本丸酉の門付近も特別に入城しご案内します。学芸員大沢の案内で「青葉城資料展示館で高精細CG映像、伊達政宗書状などを見学」⇒本丸から三の丸、仙台大橋までの登城路を徒歩で散策します。</p> <p>(行きは本丸から本丸詰め門～中の門～大手門～大橋ルート) (帰りは三の丸～巽門～清水門～沢の門～本丸詰め門ルート)</p> <p>集合 : 青葉城資料展示館          所要時間 : 3時間          持ち物 : 歩きやすい服装(本丸～大橋を往復します)、筆記用具          その他 : 資料は当日配付します</p>

ツアー	④ 仙台城跡、瑞鳳殿、大崎八幡宮、東照宮、陸奥国分寺薬師堂
ガイド	遠藤 勝目
所要時間	2～3時間
内容	<p>仙台市内に散在する史跡の由来や魅力を解説。          時間や場所は依頼者の要望に応じて対応します。</p>

# 〈講師プロフィール一覧〉

名前	古田 義弘 (講演会①・②担当講師)
生年	1936 年
略歴	<p>岩手県立一関第一高等学校卒。日本大学芸術学部中退。法政大学社会学部卒。東北大学教育学部・工学部(都市計画)研究生終了。</p> <p>1968 年(株)フルタプランニング設立、代表取締役社長(40 年間)。</p> <p>1966 年NHKテレビ出演(土地問題で大蔵大臣と対談)</p> <p>同年、仙台放送・東日本放送でテレビ住宅番組 25 年間企画出演。</p> <p>同年東北放送ラジオ番組(土地・住宅)35 年間企画出演。</p> <p>東北福祉大学教授(25 年間)</p> <p>宮城県・仙台市各種委員多数。</p> <p>主な著書</p> <p>「宮城県百科時点」(河北新報社刊、共著)</p> <p>「居は気を移す」(FP出版)</p> <p>「現代に生きる歴史上の人」(FP出版)</p> <p>「仙台城下町名由来と町割」(本の森)</p> <p>「仙台八街道界隈の今昔」(本の森)</p> <p>「仙台城下のわたしの記憶遺産」(本の森)</p> <p>など多数</p>

名前	田中 於菟彦 (講演会⑰・⑱担当講師)
生年	1943 年
略歴	<p>1943 年仙台城本丸跡に生まれる</p> <p>仙台第二高等学校卒。東北学院大学経済学部経済学科卒</p> <p>國學院大學専攻科修了</p> <p>現在、宮城県護國神社権宮司</p> <p>青葉城本丸会館館長</p> <p>「歴史博物館青葉城資料展示館」館長(文部科学省登録博物館)</p> <p>[活動]</p> <p>伊達政宗公、仙台城に関する教育普及・啓蒙活動をライフワークとして行っている</p>

名前	遠藤 勝目(講演会③～⑯担当講師、ツアー④担当ガイド)
生年	1930年
略歴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1953年 東北大学教育学部卒業</li> <li>・刈田郡白石町立白石小学校、仙台市立小学校勤務</li> <li>・1996年 観光ボランティアガイド「ぐるーぷ・よっこより」代表。 仙台市内史跡ガイドの依頼を受けて、年間80件・1600人を仲間と共にガイドしている。</li> <li>・2004年 NPO 法人シニアネット仙台で歴史講座「仙台・歴史アラカルト」を開講。 講師を務めている。</li> <li>・2008年 「伊達治家記録を読む会」を開設。講師を務めている。</li> </ul>

名前	大沢 慶尋 (講演会⑱～㉔担当講師、ツアー①担当ガイド)
生年	1967 年
略歴	<p>國學院大學史学科(日本中世史)卒。國學院大學専攻科修了。 現在、「歴史博物館 青葉城資料展示館」主任学芸員。NHK文化センター仙台教室講師(2014 年)。宮城県教育委員会登録講師(2014 年～) 調査・研究領域・・・戦国時代～江戸時代初期の伊達氏。仙台城。</p> <p>(主な著書)「天正二年最上の乱」の基礎的研究—新発見史料を含めた検討—(『青葉城資料展示館研究報告 特別号』平成 14 年 2 月)</p> <p>(編纂書) 伊達家家臣湯村家文書—近世・近代編—(『青葉城資料展示館研究報告 1号』平成 18 年 7 月)</p> <p>(主な論文)「天正十五年鮎貝宗信謀叛事件～伊達政宗・最上義光不和発端説の検証」 (『研究資料集 第 37 号』山形郷土史研究協議会平成 2016 年 4 月)</p>

名前	坂 和夫 (ツアー②担当ガイド)
生年	1941 年
略歴	現在.伊達家御廟大年寺会 総務部長

名前	新関 昌利 (講演会②⑤担当講師)
生年	1935 年
略歴	<p>■現職 「四ツ谷の水を街並みに」市民の会 会長 戦没船を記録する会 会長 仙台の戦災・復興と平和を語り継ぐ会 理事 せんだい豊齢学園 講師</p> <p>■経歴など 1935 年 宮城県岩沼市生まれ 東北大学、法政大学卒 県内公立学校、私立育英高校 勤務 現在に至る</p> <p>主な著書 ・巨理海岸の集落 ・仙南向山の地誌 ・仙台四ツ谷堰の基礎的研究 ・日本空襲の中の宮城の空襲誌(上中下) ・知られざる漁船の戦い(上下) ・阪神淡路大震災被災船 第5 光洋丸 ・海鳴りの果てに</p>

名前	佐藤 彰男 (講演会②⑥担当講師)
生年	1949 年
略歴	<p>■株式会社 東日本リサーチセンター 代表取締役 佐藤 彰男(さとう あきお) ■宮城大学 事業構想学部 客員教授</p> <p>1949 年 宮城県石巻市生まれ 宮城県石巻高等学校卒業 1972 年 東北学院大学 経済学部卒業 卒業後、印刷会社、出版社、調査会社等の民間企業の役員等を歴任 1998 年 ～株式会社東日本リサーチセンターを設立、代表取締役就任 2002 年 ～特定非営利法人まちづくりネットワークTOMネット理事就任 2003 年 ～宮城大学 事業構想学部 非常勤講師 2006 年 ～宮城大学 事業構想学部 客員教授 2007 年 ～東経連事業化センター マーケティング支援チームディレクター就任 2011 年 ～東経連ビジネスセンター マーケティング支援チームディレクター就任 2014 年 貞山運河研究所の設立に関わり、副理事長に就任 現在に至る</p>

名前	安井 妙子 (講演会②⑦担当講師、ツアー②担当ガイド)
生年	1948 年
略歴	<p>宮城県出身。1969 年 宮城工業高等専門学校建築学科卒業。一級建築士。一級建築士事務所安井妙子あとりえ主宰。ハウスメーカー、(有)安井設計工房を経て現在に至る。</p> <p>受賞歴</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1999 年 (財)住宅・建築省エネルギー機構主催第 4 回環境・省エネルギー住宅賞において『宮澤邸(旧広田家住宅 享和 3 年建築)』に対し「財団法人住宅・建築省エネルギー機構理事長賞」</li> <li>2002 年 社団法人日本建築学会東北支部主催第二十二回東北建築賞にて「業績賞」業績名「古民家の現代的再生－断熱・気密改修技術の確立にむけた一連の業績－」</li> <li>2007 年 社団法人日本建築家協会東北支部主催第1回JIA東北住宅大賞 2006 にて『国登録文化財 岩手県奥州市江刺区千葉家住宅』に対し「優秀賞」</li> <li>2007 年 社団法人建築設備総合協会主催 第5回環境・設備デザイン賞にて、『白川村合掌造り迎賓館 好々庵』に対し、建築・設備統合デザイン部門「優秀賞」および「BE賞」</li> <li>2007 年 国際会議 Indoor Air Quality, Ventilation and Energy Conservation in Building (IAQVEC2007 開催地仙台)にて『Renovation of Japanese traditional homes And Improvement of Indoor climate (仙台市青葉区大倉の結城家住宅)』の発表に対し「ベストポスター賞」</li> <li>2008 年 12 月 パナソニック電工株式会社主催『リファイン大賞 2008』にて、千石家修復工事に対し「全国最優秀賞」</li> <li>2011 年(財)建築環境・省エネルギー機構主催『第 4 回サステナブル住宅賞』にて羽生の家(高野家住宅)に対し「改修部門 国土交通大臣賞」</li> <li>2012 年 埼玉県主催『平成 23 年度第3回埼玉県環境建築住宅賞』にて羽生の家(高野家住宅)に対し「最優秀賞」</li> </ol> <p>まちづくり活動歴</p> <p>2010～2012 年 「原町住宅町並み博物館」構想－仙台市の伝統的住宅・町並みに活かして 公益法人トステム建材産業振興財団の助成金による研究。2016～2017 年 同名の研究公益財団法人 LIXIL 住生活財団の助成金による研究。</p> <p>非常勤講師歴</p> <p>宮城学院大学生生活文化学科 1999 年～2006 秋田県立大学短期大学部 2005～</p> <p>著書</p> <p>『古民家復権-冬も快適に暮らす』2001年 共著 みちのく伝統建築研究会 高断熱高気密古民家修復工事報告書多数</p>

名前	二郷 精 (講演会 <sup>28</sup> 担当講師)
生年	1945 年
略歴	<p>宮城県立仙台第二高等学校卒          日本大学工学部建築学科卒          1969～ 仙台市内にて建築設計事務所に勤務          1972～2014 建築設計事務所創設、宮城県内中心に設計・企画業務を展開          2015～ environment &amp; planning office 「atelier NIGO」開設          現在に至る</p> <p>1994～2005 「日本大学工学部建築学科」非常勤講師 (課目:建築企画)          1995 日本建築学会「第15回東北建築賞:業績賞(仙台城関連)」受賞          2003 日本建築学会東北支部「功労賞」受賞</p> <p>主な業務・作品          「岩切の家 (パッシブソーラーハウス)」          「仙台城本丸大広間 CG 映像」          「芹沢圭介美術工芸館 (東北福祉大学)」          「特別史跡多賀城跡建物復元等管理活用整備計画」          「朝日新聞社仙台支局 (仙台朝日ビル)」          「ANA ホリデイイン仙台」</p>